



平成29年7月26日
公益社団法人 農業農村工学会

2017年7月九州北部豪雨による被災ため池等に係わる 第一次調査団の派遣

農業農村工学会では、災害対応特別委員会（委員長青山咸康京都大学名誉教授）による対策本部を設置し、この度の2017年7月九州北部豪雨によるため池等の被災原因の解明及び今後の復興に向けた対策を検討するため、九州大学大学院農学研究院の平松教授を団長とする専門家による現地調査を7月27日から行います。

概要

九州北部豪雨災害では多くの方が犠牲となり、多数の方が被災されました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

公益社団法人農業農村工学会は、農業用ダム、ため池、農業用の水路、農地等の生産基盤の整備技術や保安全管理を研究する学術団体です。

このたびの九州北部豪雨災害では、多くのため池、水路、農地等が被災しました。このため、ため池等の被災原因の解明及び今後の復興に向けた対策を検討するため、九州農政局農村振興部と合同で九州大学大学院農学研究院の平松和昭教授を団長とする専門家による第一次調査団の現地調査を7月27日から行います。

調査団行程

7月27日(木)

朝倉市山田地区（山の神ため池、鎌塚ため池、堀川用水及び被災水田）等の現地調査

7月28日(金)

朝倉市杷木地区（上野ため池、梅川内ため池及び被災した柿の樹園地）等の現地調査

* 上記行程は現地の状況により変更する可能性があります。

* 現地調査の同行はご遠慮願います。調査箇所ごとでの取材・撮影は可能です。

問い合わせ先など

○担当者：(公社) 農業農村工学会 調査研究部 中村、宇津木
03-3436-3418 E-mail suido@jsidre.or.jp

本資料は、農政クラブ、農林記者会に配付しています。